

岡山県立倉敷琴浦高等支援学校

地域と連携して～現場授業～

取組等の概要



産業振興センターでの縫製作業
(家政コース)



高齢者施設での接遇実習
(流通サービスコース)



地域の公会堂や高齢者施設の清掃
(環境サービスコース)

本校は平成22年4月に開校した職業科を置いた高等部のみの特別支援学校（知的障害）です。卒業後は障害者枠での一般就労をし、地域で自立した社会人となることを目指しています。

1年生の2学期から「家政」「流通サービス」「環境サービス」の3つのコースに分かれて専門的な学習を行います。また、校内実習のみならず、現場実習や現場授業といった地域に出て実践的に就労に必要な力を育む授業も行っています。

現場授業は、2年生を中心に数名のグループで教員の付添の下で地域の企業や施設に出向いて行う授業です。

家政コースでは「ミシンの技術を身につけて就労へ」という地元児島の願いもあり倉敷市児島産業振興センターにて動力ミシンを一人1台使わせていただきミシンの技術向上のための実習を行っています。一般の企業の方が商談をするスペースのすぐそばで実習に取り組むことにより、企業や会社、社会人という雰囲気を感じながら作業を行う時間ともなっています。

流通サービスコースでは、地域の高齢者施設において月に1回、利用者さんのための喫茶室を開いています。そこでは、お菓子とともにコーヒーやジュースをお年寄りにふるまう接遇実習をさせていただいています。生徒にとっては学校で学習したことが実際の場面で活用でき、外出の機会が少ないお年寄りにとっては生徒との交流を喜びとして受け入れてくださるといってお互いにとって良い活動となっています。

環境サービスコースでは、長年にわたって地域の公会堂や高齢者施設の清掃活動を行っています。清掃場所に適した道具を持って行き、仲間と協力しながら清掃を行います。様々な形状のトイレや洗面台、材質の違う床面など、学校だけではできない清掃体験をすることができ、さらに、感謝の言葉を生の声で聴くことができる貴重な体験をさせていただいています。

このように、本物の商品を扱ったり、お客様を前に作業をさせていただいたりしながら「働くために必要な力」を実践的に身につけています。